

かえる便り 30年度17号

平成30年9月3日

秋涼の候、皆様にはご健勝のこととお喜び申し上げます。

当たり前のことを当たり前にするのは、普通のことだと思います。しかし、その当然のことをしない人がよくいます。そのような人を見ると 当たり前=普通 が優れていることだと思わされることがよくあります。残念なことだと思います。

幸福だけで 限りなく成長することは 至難なことである。

困難はその時には ありがたくはないが

これを活用しうる人にとっては 将来の大きな幸福への

「チャンス」である。

成長するためには、苦難が喜びであると思えるようになることである。



先日の出雲での試合に 2年前のマネージャーが差し入れをしてくれました。それはかなりの金額です。本当にありがたいことです。彼女の心遣い・思い遣りをどれだけの部員が感じているでしょうか？心ないとは思い遣りがないことです。利己的な人は、氣遣いが出来ないことが多い。仲間を助ける行動をして欲しいものです。

準備とは、自分の未来をよくするためにするものです。準には 推し量るという意味もあります。どのような 備 をすることが、仲間と自分を助けられるか考え、実行してほしいものです。危険を察知しているなら声を出し助けることも良い準備です。仲間を助ける声がないのは不思議ですね…。勝つ気がないのでしょ

うか？
良い準備をしても素晴らしい結果が出るとは限りませんが、準備をしなければ望ましい結果を得ることはできません。準備をしてきた人は、結果から何をすべきかを反省すると思いますよ!!

夢を叶えたいのであれば、言い訳をしないで一所懸命にするしかない!! 個人の損か得かで物事を考える人が多いと チーム力を向上させる ことは難しいでしょうね。与えられた場で責任を持って任務を遂行できる人材を育成したいのですが…。卒部式は直ぐにやってきますよ。同じような反省は聞きたくないですね。